

第1回 アーバンデザインセミナー レポート

1 セミナー概要

日時：11月22日（火）18時30分

場所：UDCBK

テーマ：「超指向性音響※」×「まちづくり」

講師：立命館大学情報理工学部 西浦敬信 教授

参加者：10名

<セミナーの様子>



※「超指向性音響」

超音波を利用して特定の場所に音を届ける技術のことで、立命館大学の体育館：BKC健康 commons（アリーナ）にも導入されており、異なる活動グループが同時に体育館を利用するような場面で活用されている。

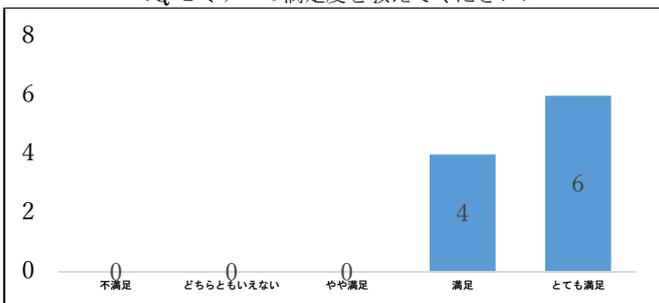
2 当日の様子

最先端の音響技術の紹介・解説を受けたあと、会場に設置されている指向性スピーカーを使って、参加者に超指向性の音を体感いただいた。質疑応答では、それぞれの参加者の立場から音響技術の活用方法や導入の可能性について多くの質問が寄せられた。

3 アンケート結果

1) 満足度

<Q:セミナーの満足度を教えてください>



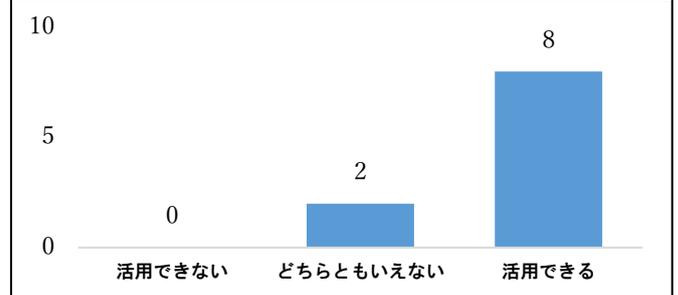
【コメント】

○音の空間シェアリングという新しい概念を学べたことと、音の可能性を感じられた。まちの課題の解決につながる情報を得られた。

- 説明も分かりやすく、体感できたのが特に良かった。
- 先端技術のことがわかりやすく理解できて有意義でした。
- 効果とコストのイメージが理解できました。最新でありながら公共空間での実用可能性もありそうだと思います。
- 広場やコミュニティスペースの活用がイメージできた。空間シェアリングができれば、防音せず隣同士で違うリモート会議ができると思いました。

2) 活用について

<Q:セミナーの内容はまちづくりや私生活で活かせるものでしたか>



【コメント】

■活用できる

- ムクドリなどの生物公害の対策に活用できると考えます。
- 交通安全に関する技術に活用できるのではないかと、目が不自由な方に照射して歩ける道をつくる。
- 盆踊りや街中の音楽イベントに。
- レジャープールでの注意喚起についても場所ごとの危険な内容があり、これを超音波で聞こえたらいいなと思いました。
- アクティブノイズコントロールの技術が進めば、もっと魅力的な技術になると感じました。

■どちらともいえない

- 公共施設など、公の仕事による部分が大きいかなと、民間・一般利用まで、家庭用が生まれるのかな…
- 場面の想定が及ばないので…

4 まとめ

今年度のセミナーについては、学習機会の提供だけでなく草津市内における先端技術の実践・実装につながるよう、市民が活用できる講演内容の設定、関連の高い団体に周知先を絞るなど工夫をして事業を進めている。

その結果、セミナーにおいて「東山道公園でパブリックビューイングをしたいがこの技術は活用できるのか」「ムクドリ被害で悩んでおり、この技術を活用したい」といった社会実装を見据えた具体的な質問が多く寄せられ、今後の事業等への反映が期待できる内容であった。

アンケートにおいても、生物公害対策や交通安全、プール、音楽イベント等の具体的な場面における音響技術の活用イメージについての質問・意見が多く得られ、セミナーを通して先端技術やまちづくりに対する興味関心が深まり、関係機関との連携やまちづくりへの実装に向けたイメージを共有することができたと評価できる。

UDCBKとしても、先端技術の導入に関して、東山道公園における社会実験の検討等を行いたい。